

和泉市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
見直しにかかるアンケート調査報告書
(概要版)

調査の目的、実施方法など 1

調査結果 3

- 1. 回答者の状況 3
- 2. 身体状況について 7
- 3. 介護予防について 8
- 4. 病気・医療について 10
- 5. 生活支援サービスについて 14
- 6. 認知症・虐待について 17
- 7. 地域包括支援センターについて 19
- 8. 介護保険、今後の意向について 20
- 9. 介護者の状況について 24

調査の目的、実施方法など

1. 調査目的

本市では、市民すべてが高齢期を自分らしく過ごしていただけるように、「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、さまざまな高齢者施策を進めています。

本調査は、計画の見直しに向けて、高齢者の生活実態やニーズ、介護保険制度に対する意向を把握することを目的に実施しました。

なお、調査の実施にあたって、国が示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査」を加味し、実施しています。

2. 調査の対象

調査の種類	対象者
未認定者調査	平成 29 年 3 月 1 日現在、市内在住の 65 歳以上の人（要支援・要介護認定者を除く）から 1,000 人を無作為に抽出
要支援認定者調査	平成 29 年 3 月 1 日現在、在宅で生活をしている要支援認定者のうち、更新申請・区分申請に伴う認定調査を受けた人の中から 1,000 人を無作為抽出
要介護認定者調査	平成 29 年 3 月 1 日現在、在宅で生活をしている要介護認定者のうち、更新申請・区分申請に伴う認定調査を受けた人の中から 1,000 人を無作為抽出

3. 調査方法

郵送による配布・回収

4. 調査時期

平成 29 年 3 月 28 日から平成 29 年 4 月 14 日

5. 回収状況

調査の種類	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
未認定者調査	1,000	632	63.2%	630	63.0%
要支援認定者調査	1,000	593	59.3%	591	59.1%
要介護認定者調査	1,000	404	40.4%	395	39.5%

6. 報告書の留意点・見方

○表・グラフに付加されている「n」は質問に対する回答者数を表しています。

○結果数値(%)は、少数点第 2 位を四捨五入しており、内訳の合計が 100%にならないことがあります。

- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えます。
- 表・グラフ中の「不明・無回答」の表記については、無記入、回答の読み取りが著しく困難な場合、1つまでの回答を求めている設問に対し2つ以上回答していた場合は「不明・無回答」として処理しています。
- 本調査で算出しているリスク判定の方法については、国の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の手引き等を踏まえ、以下のように算出しています。なお、これまでの基本チェックリストによる判定方法と異なります。

※表中の問番号は、一般高齢者調査における問番号を表記

評価項目	内容
運動器の機能低下	次の5項目のうち3項目以上に該当すればリスクあり(5項目全てを答えた人が対象) 問2(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。 問2(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 問2(3)15分位続けて歩いていますか。 問2(4)過去1年間に転んだ経験がありますか。 問2(5)転倒に対する不安は大きいですか。
転倒	問2(4)「過去1年間に転んだ経験がありますか。」で「1. 何度もある」「2. 1度ある」の選択肢を選んだ場合はリスクあり
閉じこもり	問2(6)「週に1回以上は外出していますか。」で「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」の選択肢を選んだ場合はリスクあり
低栄養	身長・体重から算出されるBMI18.5以下で、6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がある場合はリスクあり(2項目全てを答えた人が対象) 問3(1)身長・体重をお答えください 問3(7)6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。
口腔機能	次の3項目のうち2項目以上に該当すればリスクあり(3項目全てを答えた人が対象) 問3(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。 問3(3)お茶や汁物等でむせることがありますか。 問3(4)口の渇きが気になりますか。
認知機能の低下	問4(1)「物忘れが多いと感じますか。」で「1. はい」の選択肢を選んだ場合はリスクあり
うつ傾向	次の2項目中、1項目以上に該当すればリスクあり(2項目全てを答えた人が対象) 問7(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。 問7(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。
IADL※	次の5項目中、それぞれ「できるし、している」「できるが、していない」と回答した方を1点として、合計3点以下の場合はリスクあり(5項目全てを答えた人が対象) 問4(2)バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)。 問4(3)自分で食品・日用品の買物をしていますか。 問4(4)自分で食事の用意をしていますか。 問4(5)自分で請求書の支払いをしていますか。 問4(6)自分で預貯金の出し入れをしていますか。

調査結果

1. 回答者の状況

(1) 性別

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		n	%	n	%	n	%
1	男性	287	45.6	185	31.3	124	31.4
2	女性	330	52.4	400	67.7	266	67.3
	不明・無回答	13	2.1	6	1.0	5	1.3
	全体	630	100.0	591	100.0	395	100.0

(2) 年齢

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		n	%	n	%	n	%
1	64歳以下	-	-	12	2.0	14	3.5
2	65～69歳	207	32.9	30	5.1	21	5.3
3	70～74歳	180	28.6	71	12.0	28	7.1
4	75～79歳	128	20.3	121	20.5	58	14.7
5	80～84歳	73	11.6	156	26.4	87	22.0
6	85～89歳	27	4.3	129	21.8	91	23.0
7	90歳以上	6	1.0	66	11.2	91	23.0
	不明・無回答	9	1.4	6	1.0	5	1.3
	全体	630	100.0	591	100.0	395	100.0

(3) 居住地域【日常生活圏域】

No.	カテゴリ一名	未認定者		要支援		要介護	
		n	%	n	%	n	%
1	第1圏域	123	19.5	113	19.1	86	21.8
2	第2圏域	175	27.8	189	32.0	122	30.9
3	第3圏域	145	23.0	112	19.0	78	19.7
4	第4圏域	169	26.8	170	28.8	100	25.3
5	市外	-	-	1	0.2	4	1.0
	不明・無回答	18	2.9	6	1.0	5	1.3
	全体	630	100.0	591	100.0	395	100.0

(4) 世帯構成

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		n	%	n	%	n	%
1	ひとり暮らし	105	16.7	170	28.8	66	16.7
2	夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上)	262	41.6	167	28.3	93	23.5
3	夫婦二人暮らし(配偶者 64 歳以下)	30	4.8	7	1.2	12	3.0
4	息子・娘との 2 世帯	127	20.2	139	23.5	134	33.9
5	その他	93	14.8	72	12.2	77	19.5
	不明・無回答	13	2.1	36	6.1	13	3.3
	全体	630	100.0	591	100.0	395	100.0

(5) 要支援・要介護認定区分

No.	カテゴリー名	要支援者		要介護者	
		n	%	n	%
1	要支援1	321	54.3	-	-
2	要支援2	264	44.7	-	-
3	要介護1	-	-	85	21.5
4	要介護2	-	-	110	27.8
5	要介護3	-	-	76	19.2
6	要介護4	-	-	64	16.2
7	要介護5	-	-	55	13.9
	不明・無回答	6	1.0	5	1.3
	全体	591	100.0	395	100.0

(6) 認知症自立度

No.	カテゴリー名	要支援者		要介護者	
		n	%	n	%
1	自立	330	55.8	47	11.9
2	I	188	31.8	64	16.2
3	II a	36	6.1	45	11.4
4	II b	28	4.7	123	31.1
5	III a	3	0.5	54	13.7
6	III b	0	0.0	16	4.1
7	IV	0	0.0	34	8.6
8	M	0	0.0	5	1.3
	不明・無回答	6	1.0	7	1.8
	全体	591	100.0	395	100.0

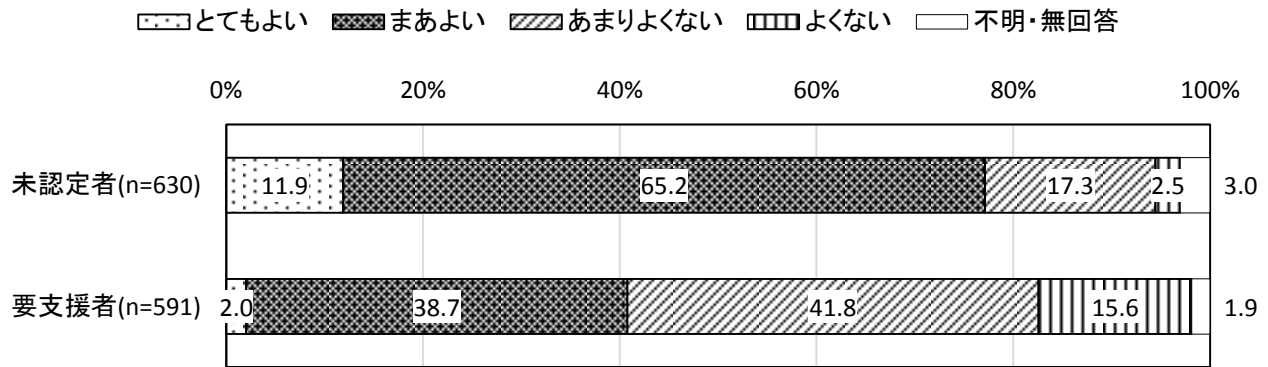
認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記2の状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記2の状態がみられる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記の状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記の3の状態が見られる。	ランク 3a に同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランク 3 に同じ
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

2. 身体状況について

(1) 健康状態（単数回答）

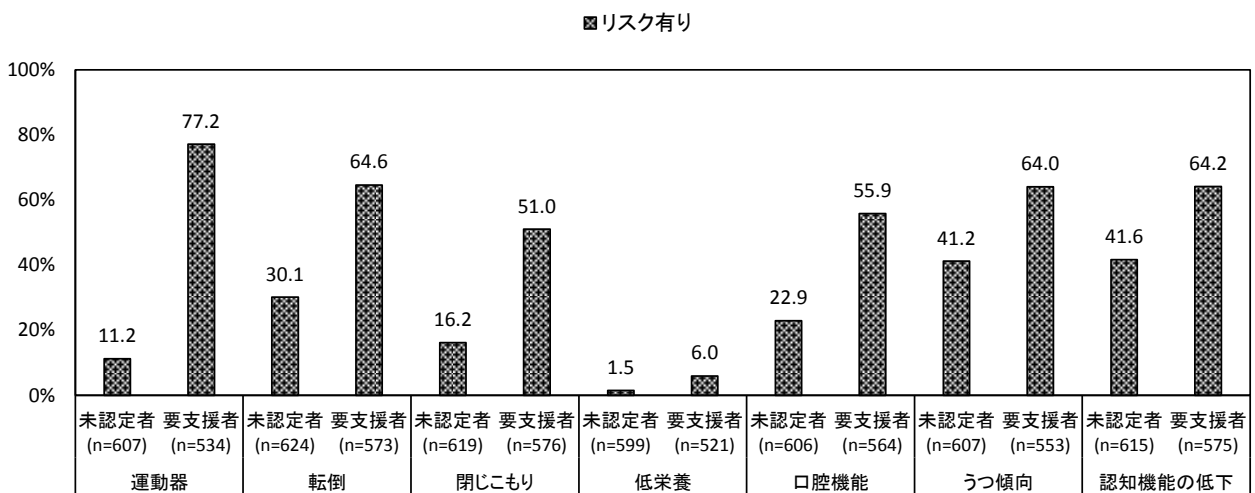
健康状態について尋ねたところ、未認定者は「まあよい」、要支援者は「あまりよくない」が最も多くなっています。また、“よい（「とてもよい」と「まあよい」の計）”は、未認定者で77.1%、要支援者で40.7%と36.4ポイントの差がみられます。



(2) リスク判定結果

調査結果からリスク状況を判定したところ、未認定者は「認知機能の低下」が41.6%で最も多く、次いで「うつ傾向」が41.2%、「転倒」が30.1%となっています。

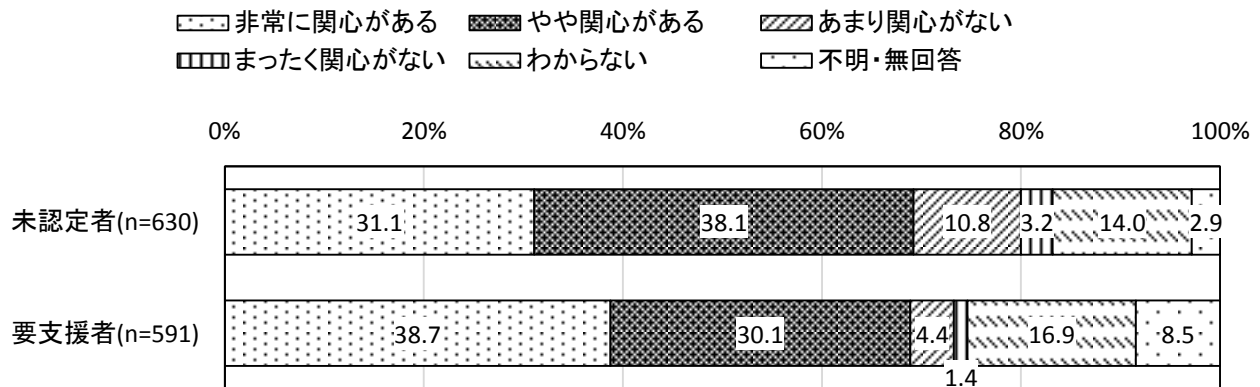
要支援者は、「運動器」が77.2%で最も多く、次いで「転倒」が64.6%、「うつ傾向」が64.0%となっています。



3. 介護予防について

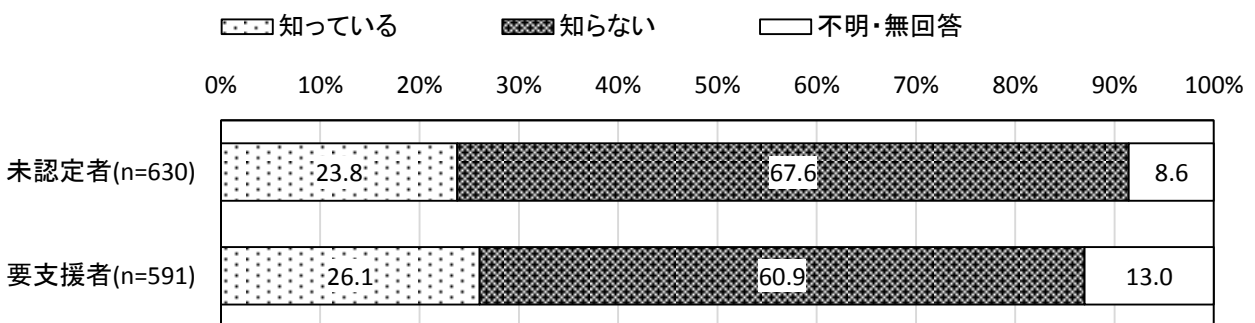
(1) 介護予防に対する関心（単数回答）

介護予防に対する関心を尋ねたところ、未認定者は「やや関心がある」(38.1%)、要支援者は「非常に関心がある」が38.7%で最も多くなっています。“関心がある（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の計）は、未認定者で69.2%、要支援者で68.8%と約7割の人が関心があると答えています。



(2) いきいきいずみ体操の認知度（単数回答）

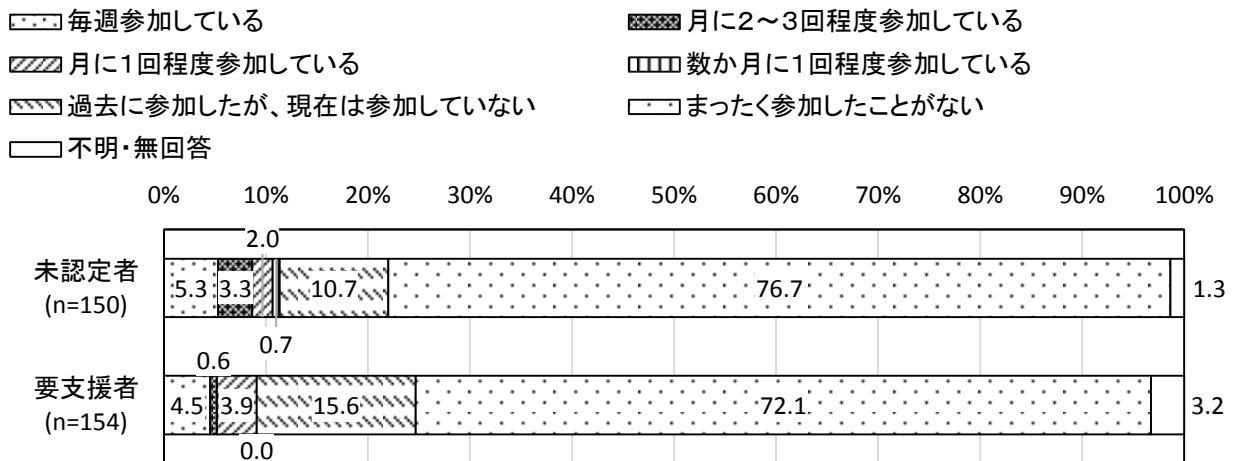
いきいきいずみ体操の認知度を尋ねたところ、「知っている」は未認定者で23.8%、要支援者で26.1%となっています。



「いきいきいずみ体操の認知度」で「知っている」と答えた方のみ

(3) いきいきいずみ体操の参加状況（単数回答）

いきいきいずみ体操の参加状況を尋ねたところ、未認定者・要支援者ともに「まったく参加したことがない」が最も多くなっています。「毎週参加している」は未認定者で5.3%、要支援者で4.5%となっています。

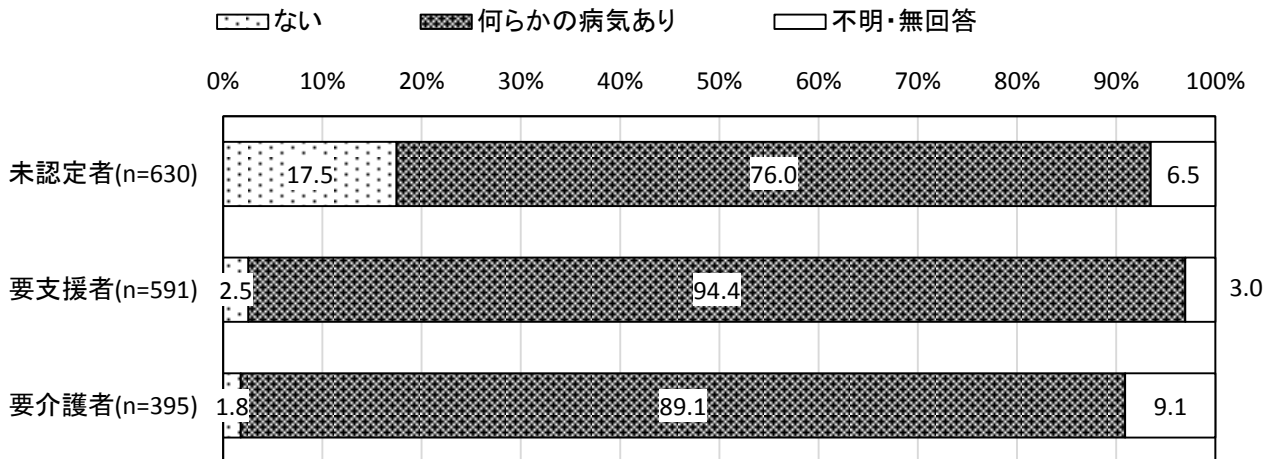


4. 病気・医療について

(1) 有病状況（単数回答）

有病上古湯を尋ねたところ、「何らかの病気あり」は未認定者で76.0%、要支援者で94.4%、要介護者で89.1%となっています。

また、具体的な病気として、未認定者は「高血圧」(38.3%)、要支援者は「筋骨格の病気」(32.7%)、要介護者は「認知症」(39.7%)がそれぞれ最も多い回答となっています。



未認定者の具体的な病気（上位3疾病）

傷病	n	%
高血圧	241	38.3
目の病気	117	18.6
高脂血症(脂質異常)	84	13.3

要支援者の具体的な病気（上位3疾病）

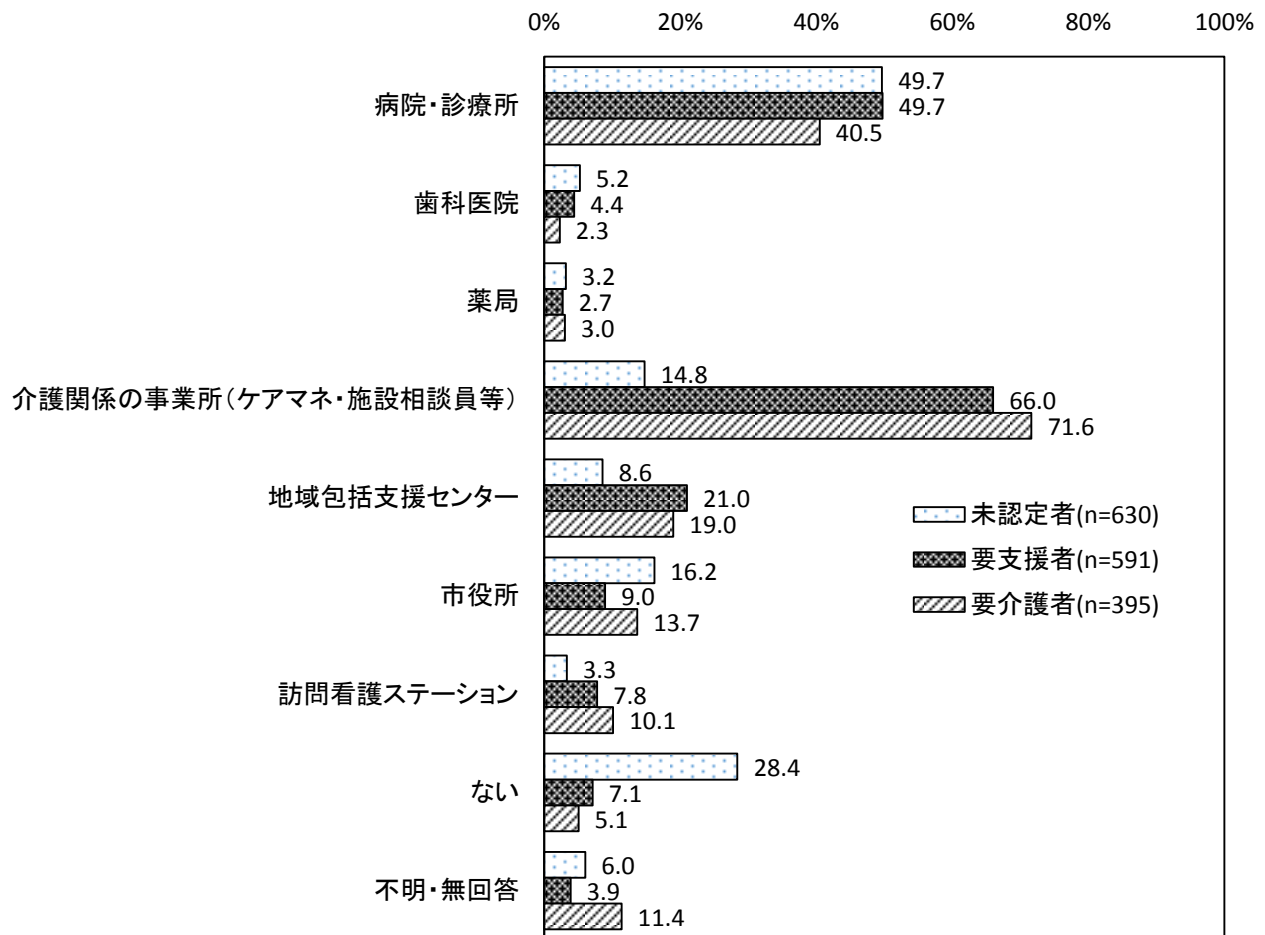
傷病	n	%
筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	193	32.7
目の病気	174	29.4
糖尿病	114	19.3

要介護者の具体的な病気（上位3疾病）

傷病	n	%
認知症	157	39.7
眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	89	22.5
筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	72	18.2

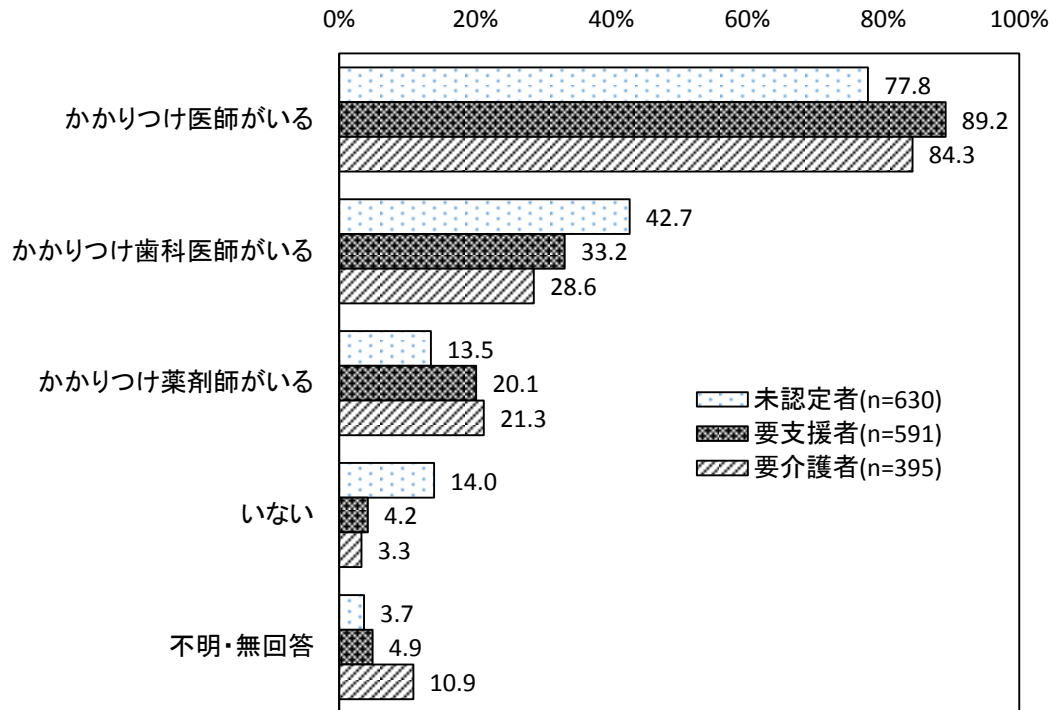
(2) 医療や介護について相談できる機関（複数回答）

医療や介護について相談できる機関を尋ねたところ、未認定者は「病院・診療所」、要支援者・要介護者は「介護関係の事業所（ケアマネ・施設相談員等）」がそれぞれ最も多くなっています。「病院・診療所」は要支援者・要介護者も40%台となっています。一方、「ない」は未認定者28.4%と2番目に多い回答となっています。



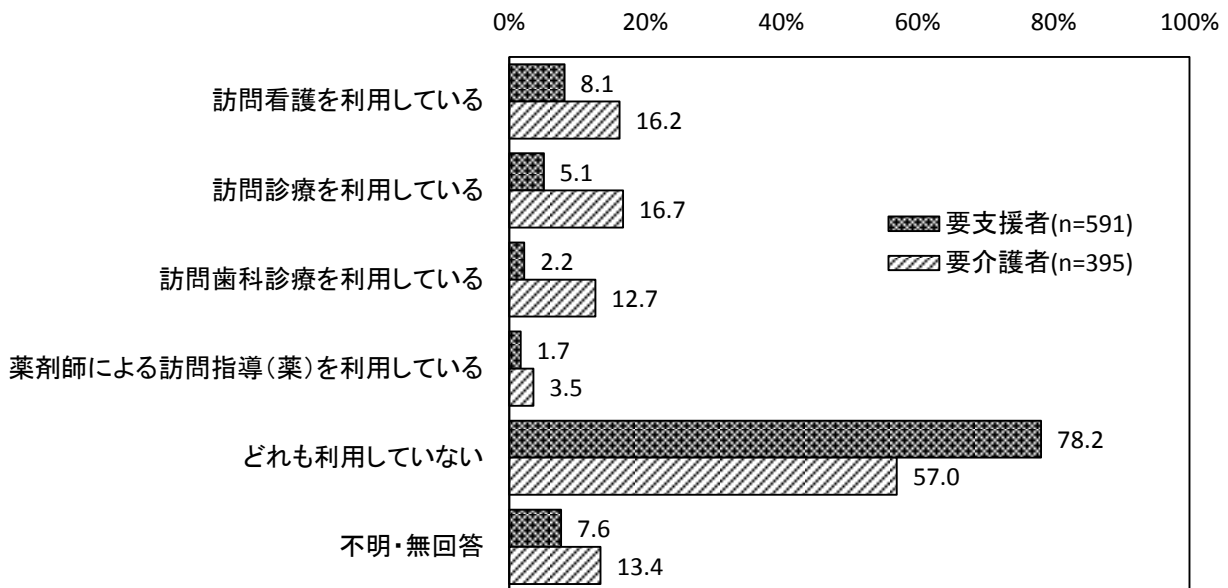
(3) かかりつけ医・歯科医師・薬剤師の有無（複数回答）

かかりつけ医・歯科医師・薬剤師の有無を尋ねたところ、未認定者・要支援者・要介護者ともに「かかりつけ医」が最も多くなっています。一方、「いない」は未認定者のみ 10%台となっています。



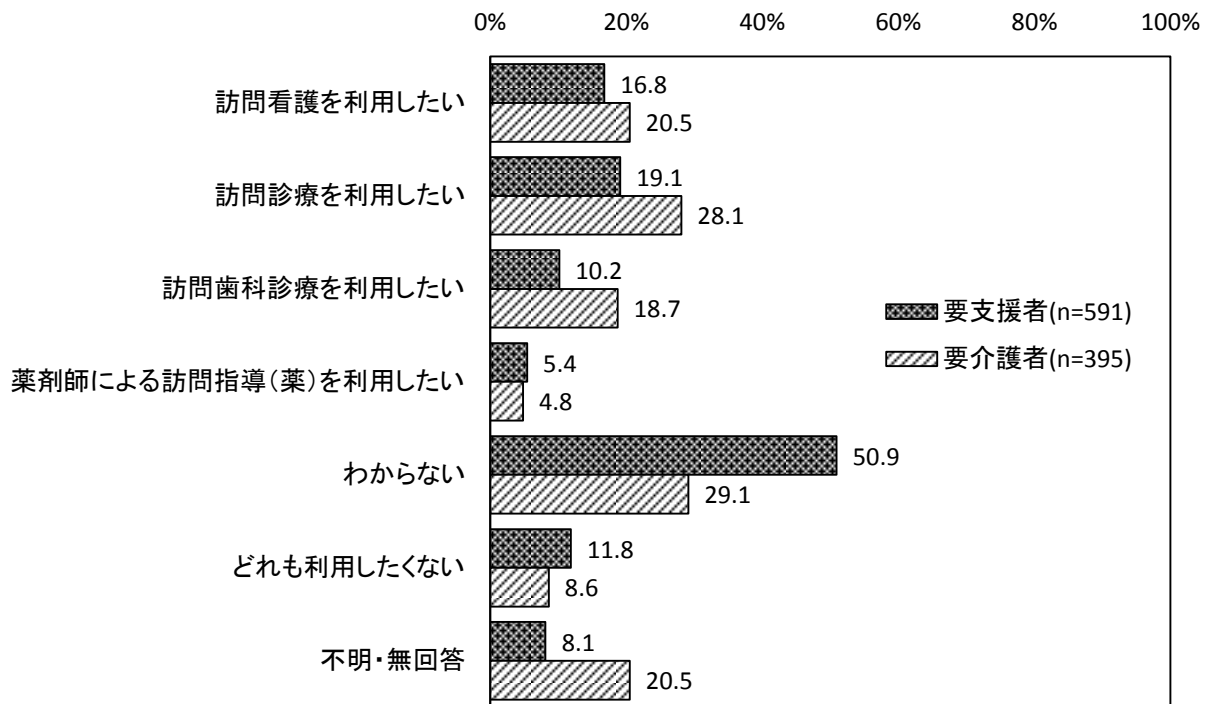
(4) 訪問医療（診療）の利用状況（複数回答）

訪問医療（診療）の利用状況を尋ねたところ、要支援者・要介護者ともに「どれも利用していない」が最も多くなっています。要介護者は「訪問看護を利用している」「訪問診療を利用している」「訪問歯科診療を利用している」が 10%台となっています。



(5) 訪問医療（診療）の利用意向（複数回答）

訪問医療（診療）の利用意向は、要支援者・要介護者ともに「わからない」が最も多く、要支援者は半数を超えています。また、要介護者は「訪問看護を利用したい」「訪問診療を利用したい」が20%台となっています。

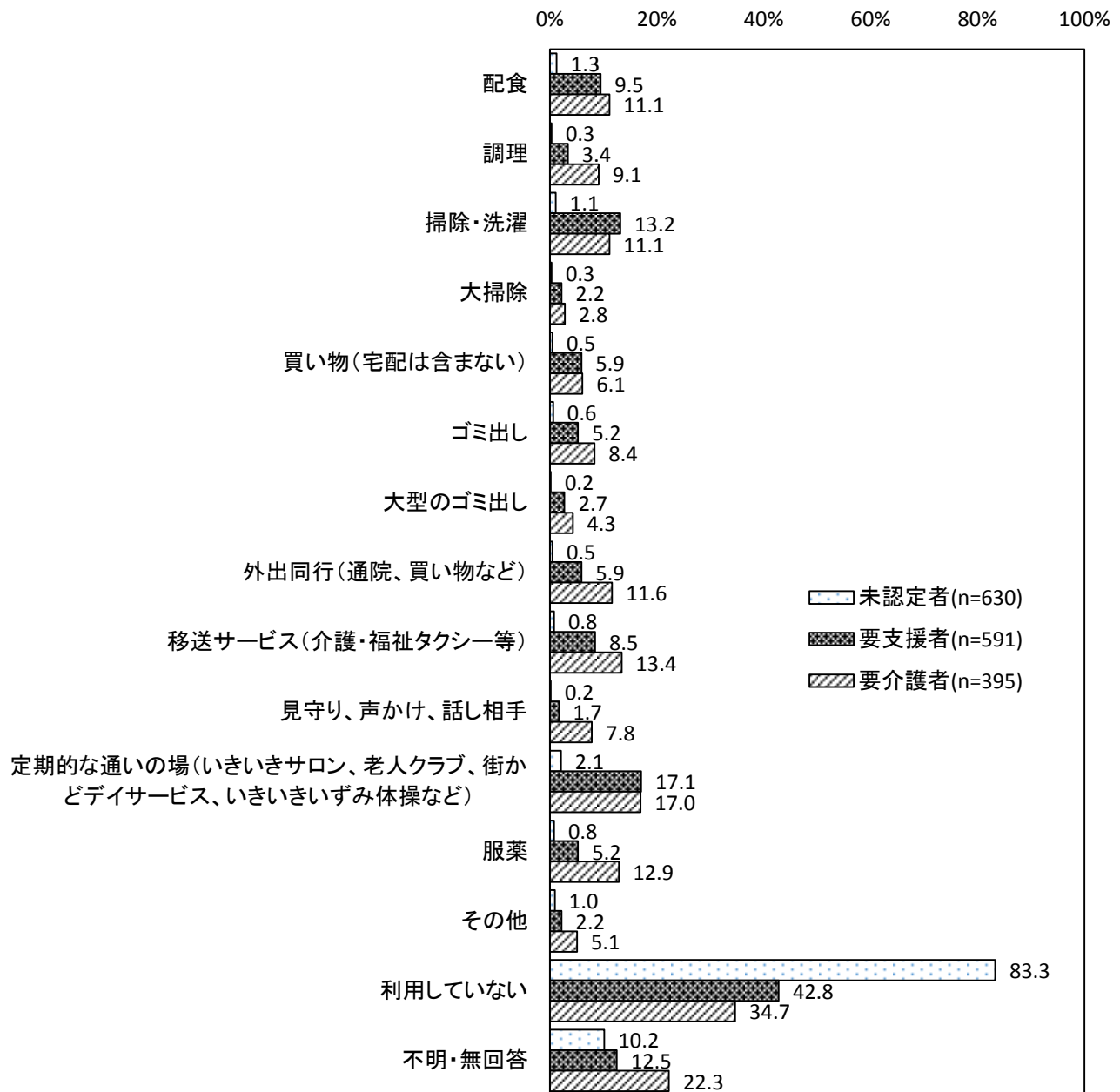


5. 生活支援サービスについて

(1) 現在利用している介護保険以外の支援・サービス（複数回答）

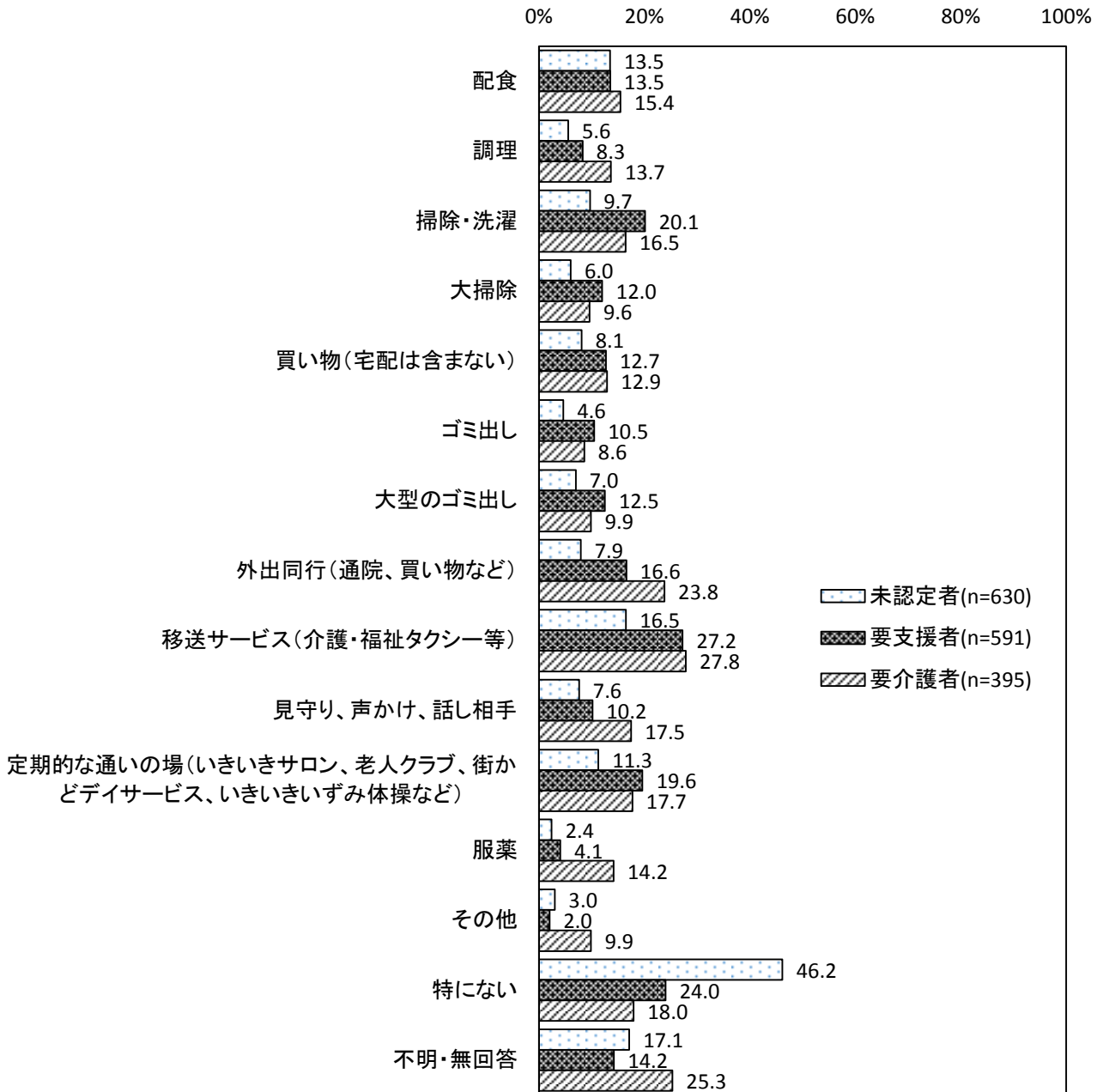
現在利用している介護保険以外の支援・サービスを尋ねたところ、未認定者・要支援者・要介護者ともに「利用していない」が最も多く、未認定者は80%台となっています。

利用している支援・サービスは、要支援者・要介護者ともに「定期的な通いの場（いきいきサロン、老人クラブ、街かどデイサービス、いきいきいずみ体操など）」が最も多くなっています（要支援者17.1%、要介護者17.0%）。2番目に多い支援・サービスは、要支援者で「掃除・洗濯」（13.2%）、要介護者で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（13.4%）となっています。未認定者は、全ての項目において5%に満たない状況です。



(2) 今後利用したい介護保険以外の支援・サービス（単数回答）

今後利用したい介護保険以外の支援・サービスを尋ねたところ、未認定者は「特にない」、要支援者・要介護者は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。そのほか、20%を超えた支援・サービスは、要支援者は「掃除・洗濯」（20.1%）、要介護者は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（23.8%）」となっています。

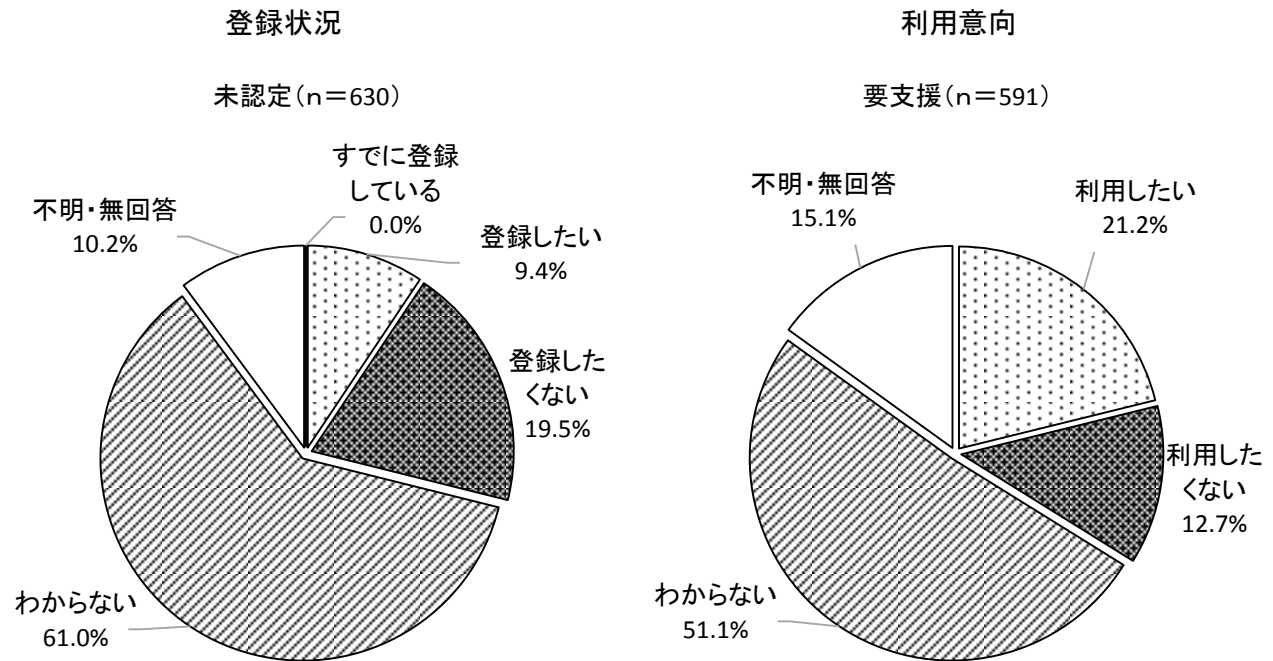


(3) おたがいさまサポーターの登録状況【未認定者】と利用意向【要支援者】

(単数回答)

未認定者におたがいさまサポーターの登録状況を尋ねたところ、「わからない」が61.0%で最も多く、次いで「登録したくない」が19.5%、「登録したい」が9.4%となっています。

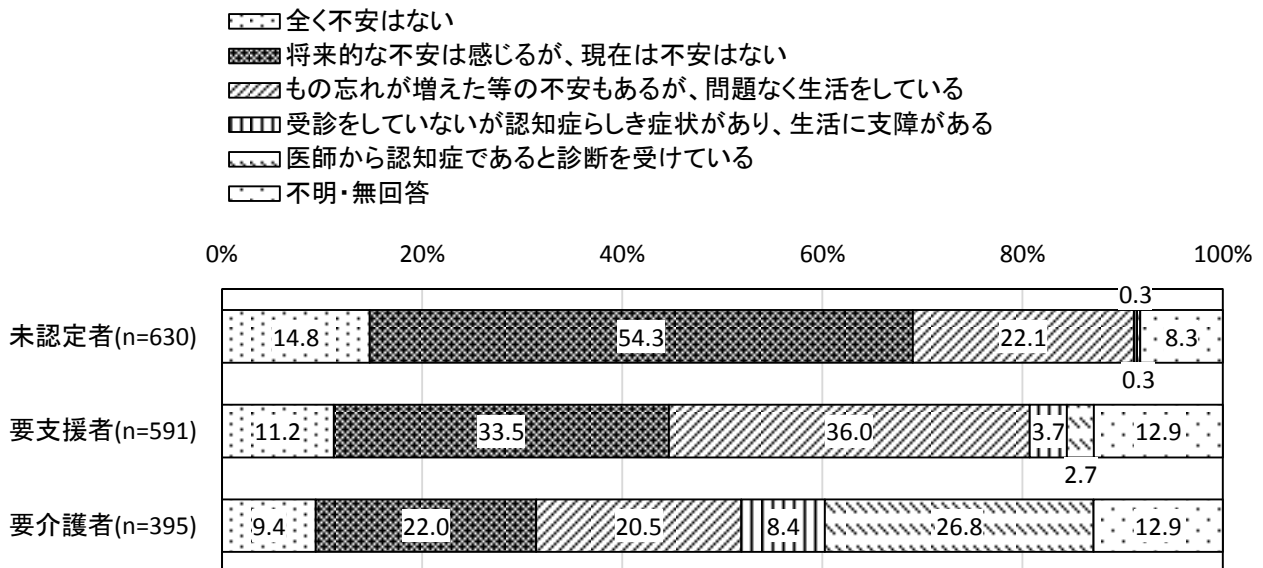
要支援者におたがいさまサポーターの利用意向を尋ねたところ、「わからない」が51.1%で最も多く、次いで「利用したい」が21.2%、「利用したくない」が12.7%となっています。



6. 認知症・虐待について

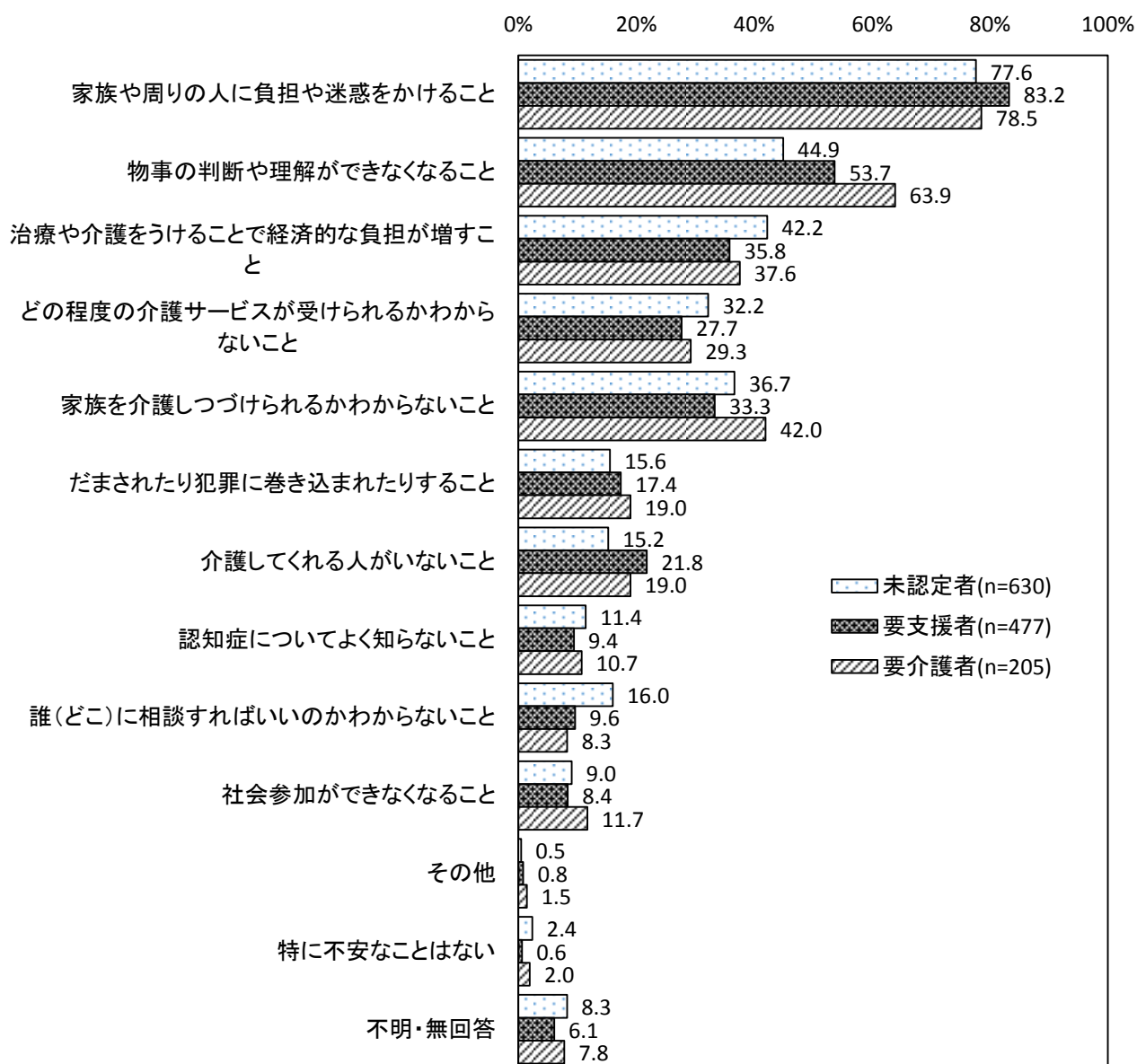
(1) 認知症について不安を感じることの有無（単数回答）

認知症について不安を感じることの有無を尋ねたところ、未認定者は「将来的な不安は感じるが、現在は不安はない」（54.3%）、要支援者は「もの忘れが増えた等の不安もあるが、問題なく生活している」（36.0%）、要介護者は「医師から認知症であると診断を受けている」（26.8%）がそれぞれ最も多くなっています。介護度が高くなるにつれて、不安を感じる人が多くなっています。



(2) 本人もしくは家族が認知症になったときの不安（複数回答）

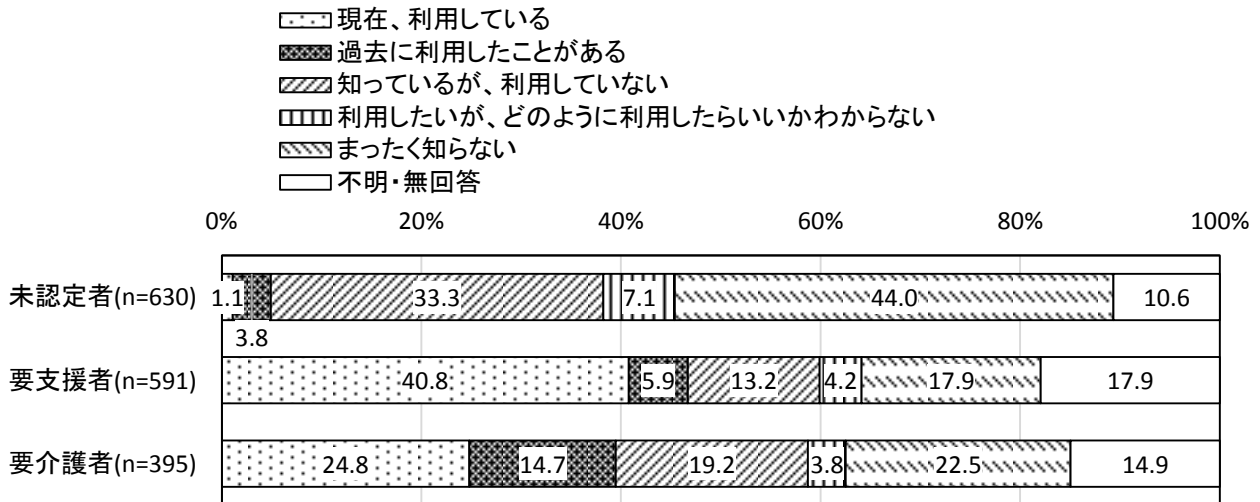
本人もしくは家族が認知症になったときの不安を尋ねたところ、未認定者・要支援者・要介護者ともに「家族や周りの人に負担や迷惑をかけること」が最も多く、次いで「物事の判断や理解ができなくなること」がとなっています。



7. 地域包括支援センターについて

(1) 地域包括支援センターの利用状況（単数回答）

地域包括支援センターの利用状況を尋ねたところ、未認定者は「まったく知らない」、要支援者・要介護者は「現在、利用している」が最も多くなっています。

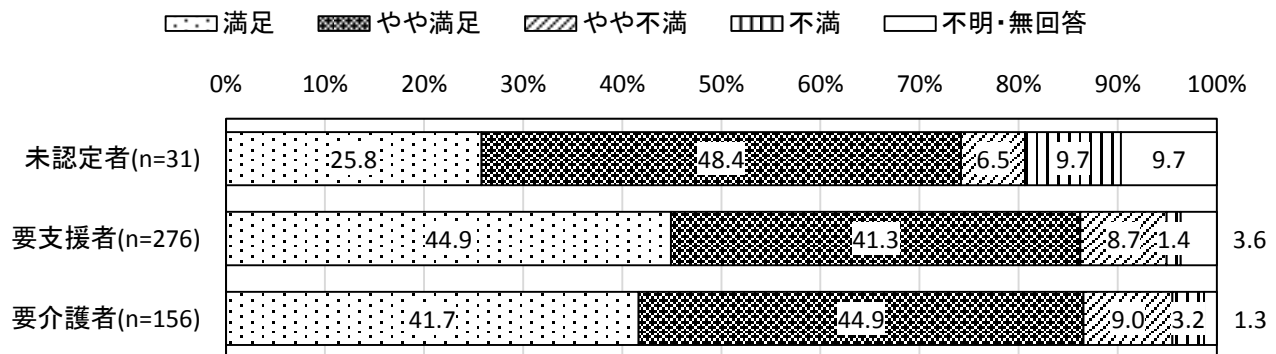


「地域包括支援センターの利用状況」で「現在、利用している」「過去に利用したことがある」のいずれかを答えた方のみ

(2) 利用した際の満足度（単数回答）

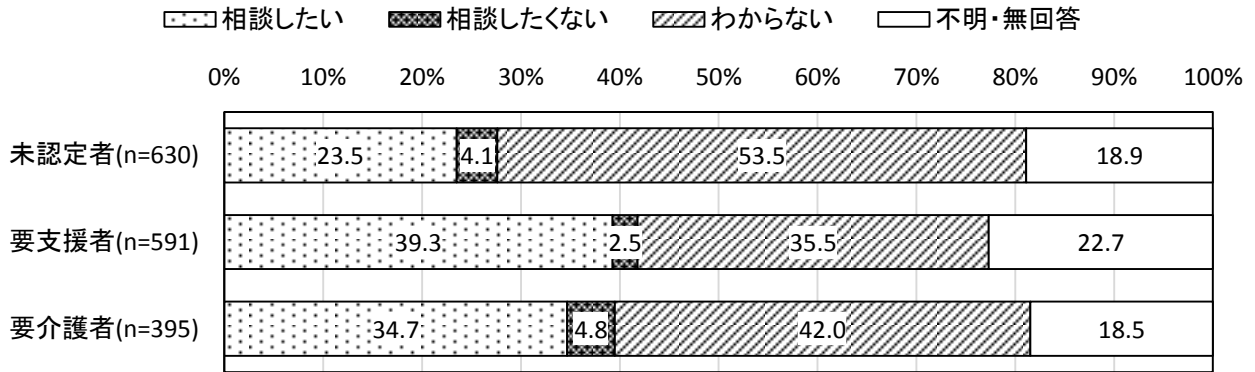
地域包括支援センターを利用した際の満足度を尋ねたところ、多くの方が“満足（「満足」と「やや満足」の計）”と答えており、未認定者で74.2%、要支援者で86.2%、要介護者で86.6%となっています。

一方、“不満（「やや不満」と「不満」の計）”は、未認定者で16.2%、要支援者で10.1%、要介護者で12.2%となっています。



(3) 地域包括支援センターに対する今後の相談意向（単数回答）

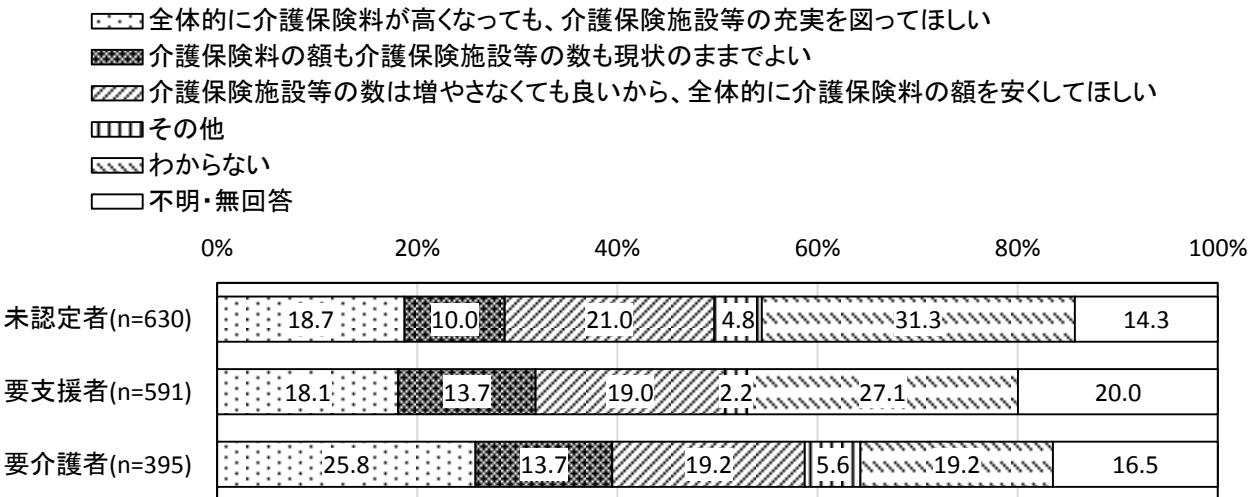
地域包括支援センターに対する今後の相談意向を尋ねたところ、未認定者・要介護者は「わからない」、要支援者は「相談したい」が最も多くなっています。



8. 介護保険、今後の意向について

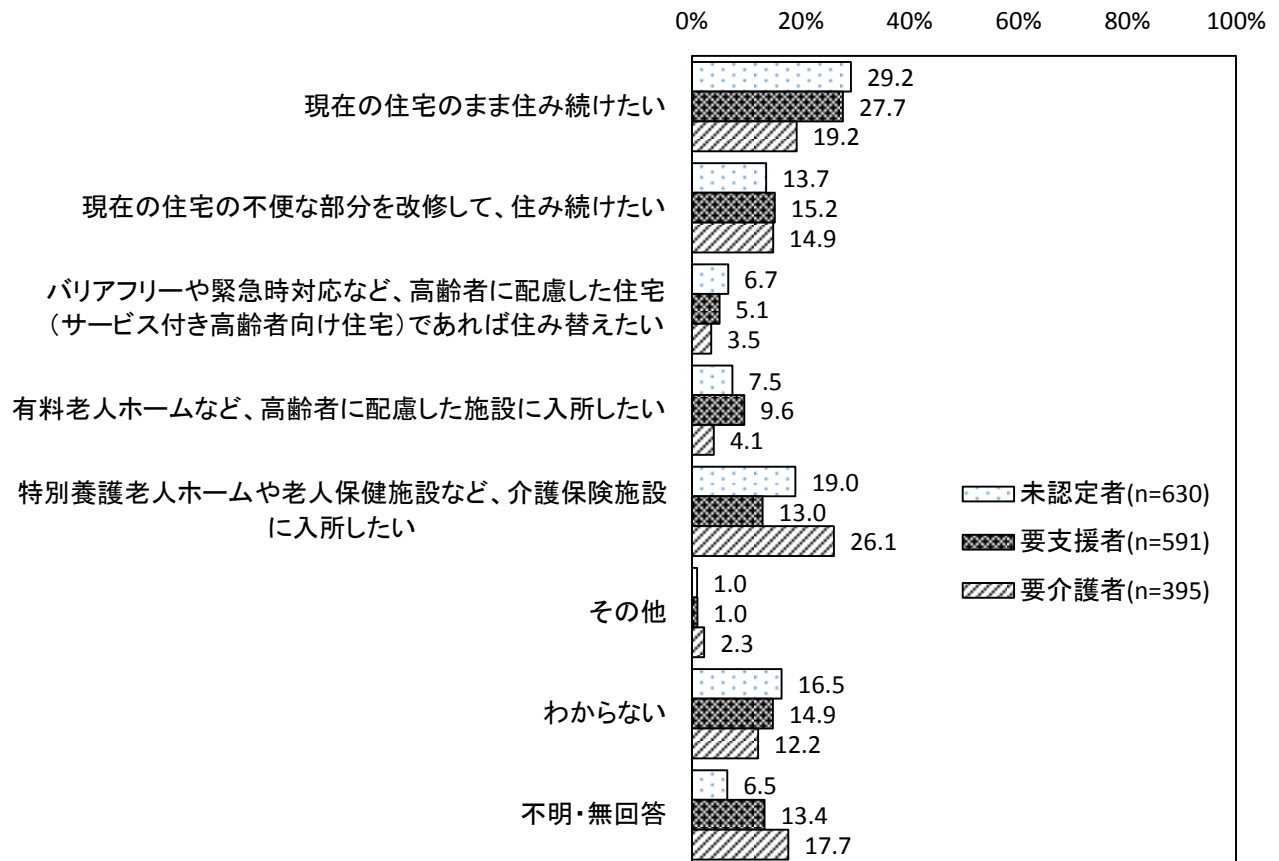
(1) 介護保険料と施設整備に対する考え（単数回答）

介護保険料と施設整備に対する考えを尋ねたところ、未認定者・要支援者は「わからない」、要介護者は「全体的に介護保険料が高くなっても、介護保険施設等の充実を図ってほしい」が最も多くなっています。



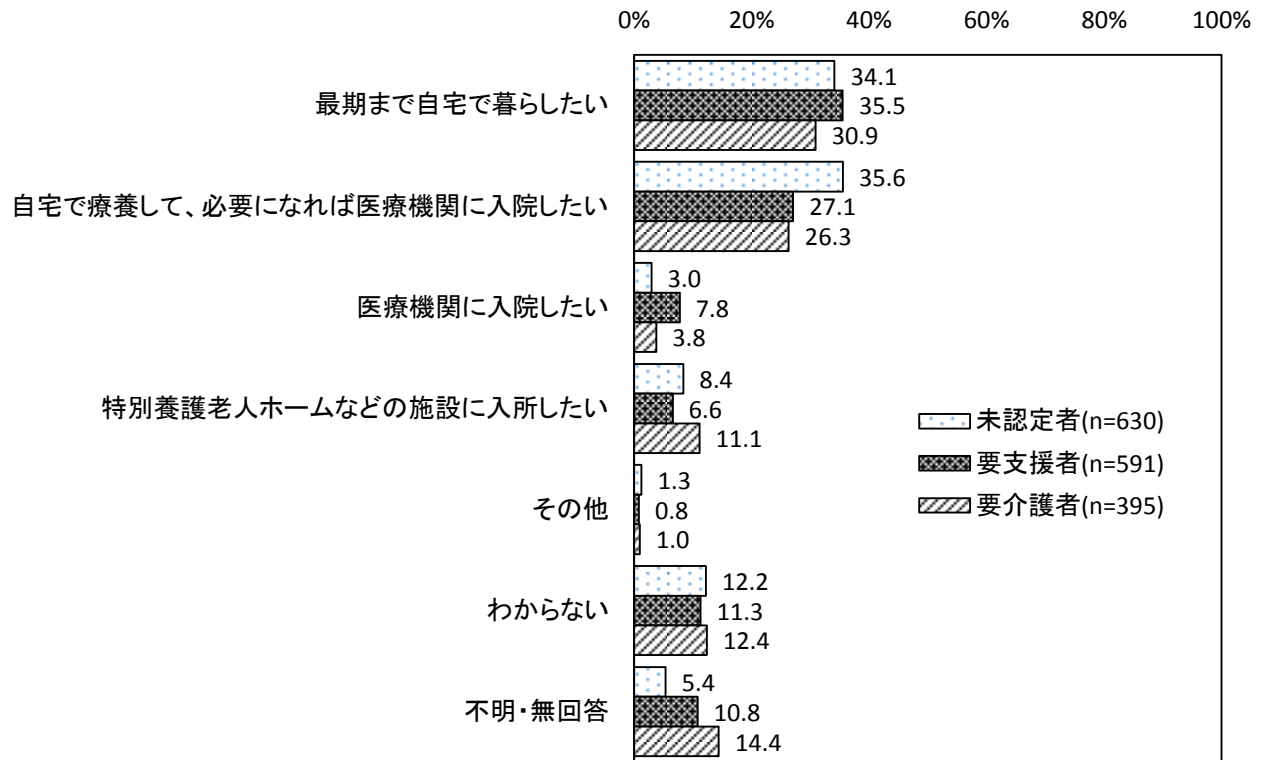
(2) 身の回りのことができなくなったときに望む暮らし方（単数回答）

身の回りのことができなくなったときに望む暮らし方を尋ねたところ、未認定者・要支援者は「現在の住宅のまま住みたい」、要介護者は「特別養護老人ホームや老人保健施設など、介護保険施設に入所したい」が最も多くなっています。



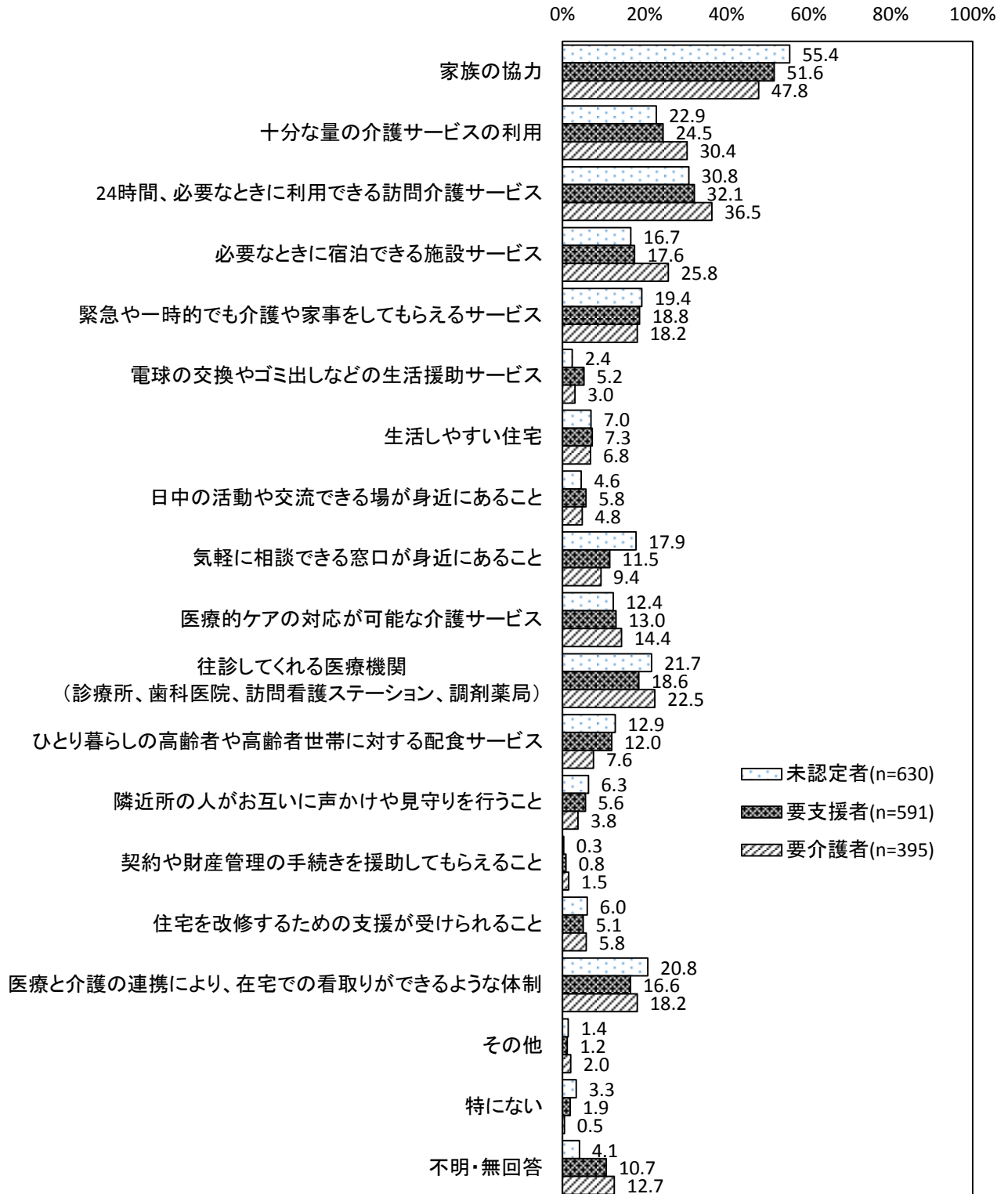
(3) 人生の最後を過ごしたい場所（単数回答）

人生の最後を過ごしたい場所を尋ねたところ、未認定者は「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」、要支援者・要介護者は「最後まで自宅で暮らしたい」が最も多くなっています。



(4) 身近な地域や自宅での生活を続けていくための支援（複数回答）

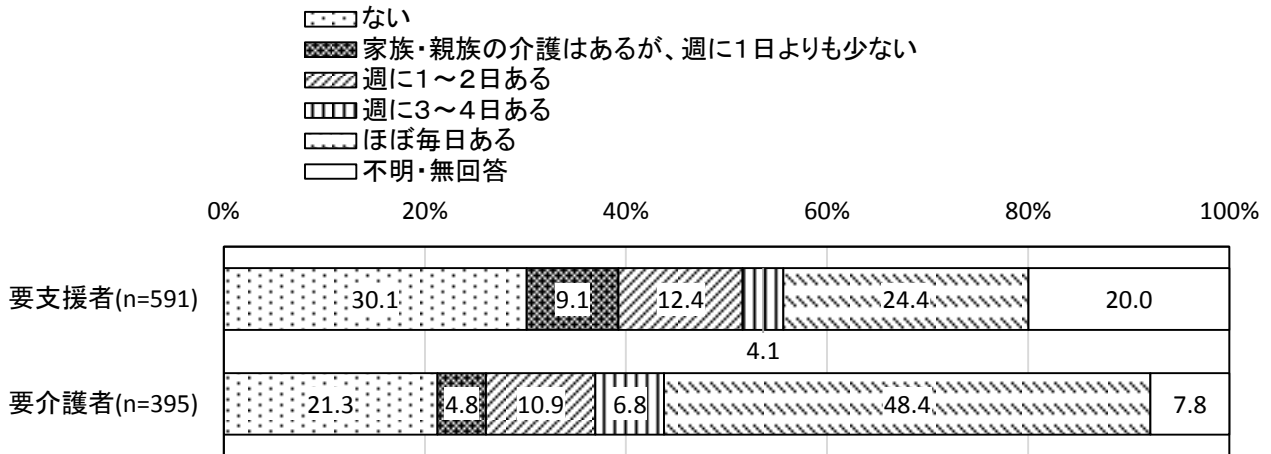
身近な地域や自宅での生活を続けていくための支援を尋ねたところ、未認定者・要支援者・要介護者ともに「家族の協力」が最も多く、次いで「24時間、必要なときに利用できる訪問介護サービス」、「十分な量の介護サービスの利用」となっています。



9. 介護者の状況について

(1) 家族介護の状況（単数回答）

家族介護の状況を尋ねたところ、要支援者は「ない」、要介護者は「ほぼ毎日ある」が最も多くなっています。

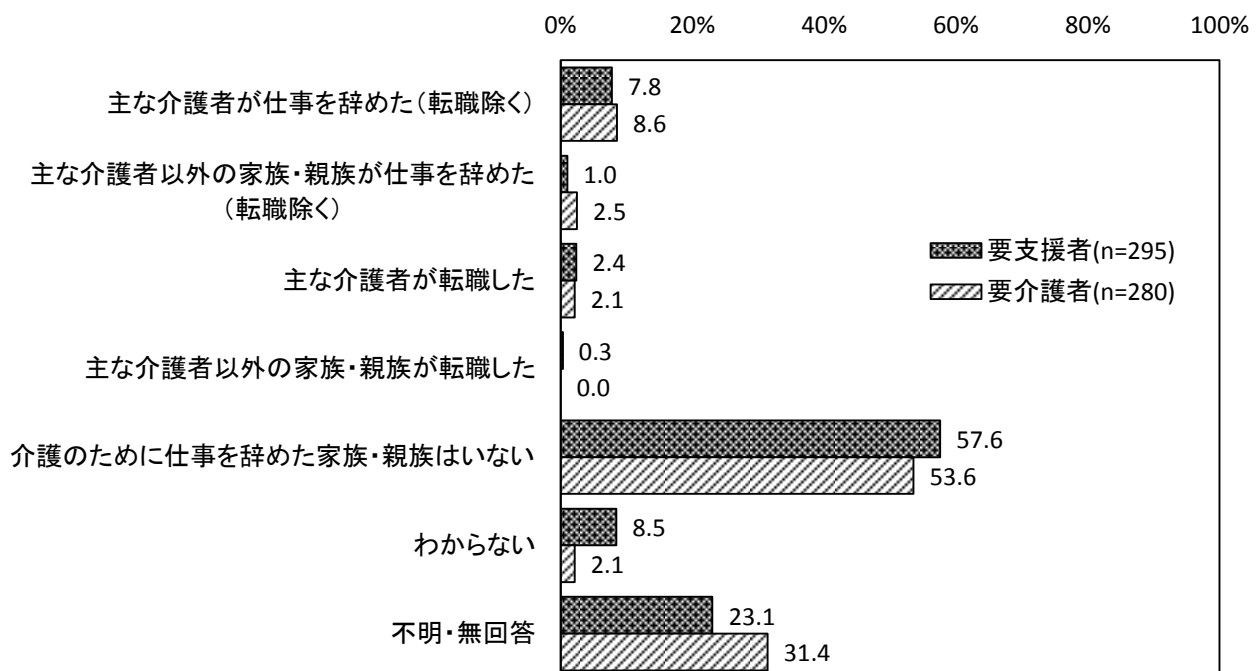


「家族介護の状況」で「ない」以外を答え方

(2) 介護離職の状況（単数回答）

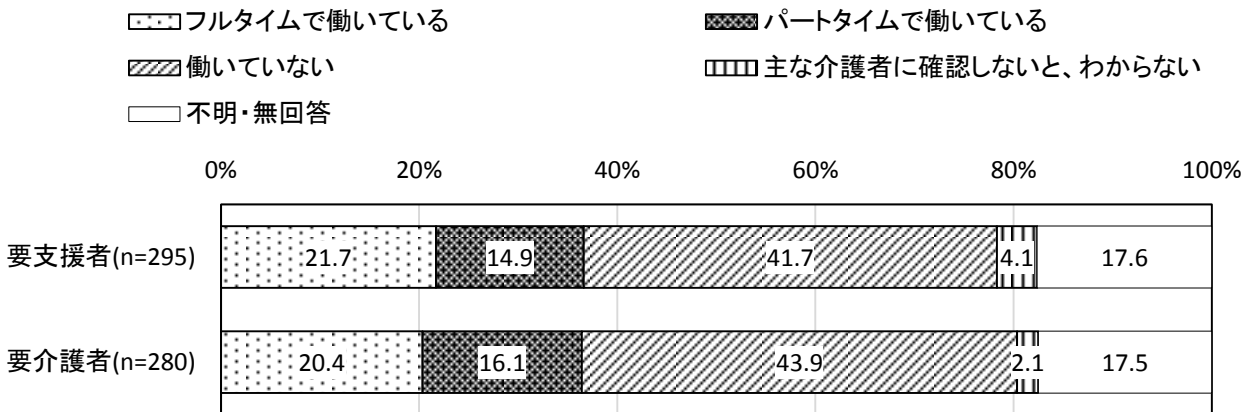
介護を理由に過去1年間に離職した人がいるかを尋ねたところ、要支援者・要介護者ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が半数を超え、最も多くなっています。

「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は、要支援者で7.8%、要介護者で8.6%となっています。



(3) 主な介護者の勤務形態（単数回答）

主な介護者の勤務形態を尋ねたところ、要支援者・要介護者ともに「働いていない」が最も多く、次いで「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」となっています。

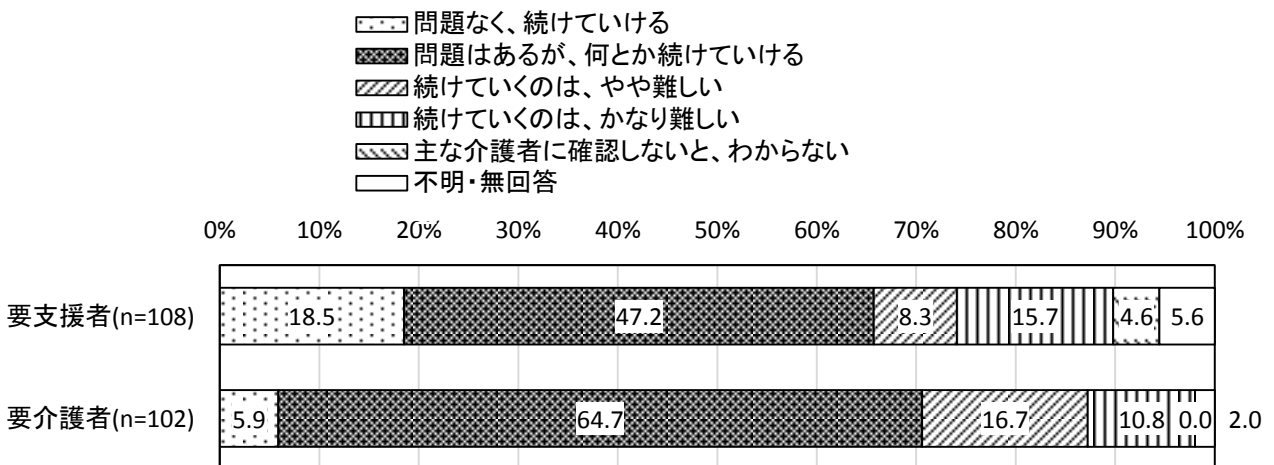


「主な介護者の勤務形態」で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を答えた方

(4) 今後も働きながら、介護が続けられるか（単数回答）

今後も働きながら、介護が続けられるかを尋ねたところ、要支援者・要介護者ともに「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多く、「問題なく、続けていける」と合わせた“続けていける”は、要支援者で65.7%、要介護者で70.6%となっています。

一方、“続けていくのは難しい（「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しいの計」）”は、要支援で24.0%、要介護者で27.5%となっています。



(5) 介護者が不安に感じる介護の内容（複数回答）

介護者が不安に感じる介護の内容は、要支援者は「外出の付き添い、送迎等」が35.9%で最も多く、次いで「入浴・洗身」が28.8%、「認知症状への対応」が23.4%となっています。

要介護者は「認知症状への対応」が37.9%で最も多く、次いで「入浴・洗身」が36.8%、「夜間の排泄」が33.2%となっています。

